

## 新年餅つき山行

## 景信山

実施日 2010年1月17日(日)

天候 晴

リーダー 馬場 清士

参加者 吉田伊勢次郎、上野キヨ、若村貴世子、友近洋子、近田芳子、若村勝昭、佐藤金治、一柳昭、山口駿三、岩井康子、小池述史、馬場清士、涌井良明、島本陳重、小松勲、小松月子、荻野智恵子、石附智江、渋谷賢寿、柴田正喜、中村友子、伊藤久雄、石井英二、計 24 名

費用 バス 440 円 (高尾 小仏)

食材 700 円 計 1,400 円

タイム 高尾駅(9:32 バス)小仏(9:50 ~ 9:55)小仏峠(10:45 ~ 11:00)景信山(11:30 ~ 13:20)小仏バス停(15:00 ~ 15:10)高尾駅(15:30)

こぶし会として初めての、新年餅つき山行を行った、天気は快晴、24名の参加者となった。

高尾駅北口の広場は多くの登山者で賑わっている。陣馬山方面、小仏方面の臨時バスがひっきりなしに発車して行く、山はラッシュアワーかもしれない。

高尾駅を出たバスは、旧甲州街道に入り、中央本線と日影沢沿いに里山の道を上がって行く、15分もすると小仏バス停だ。身支度を整え、舗装された林道を行き登山道に入るころ身体が暖まってきた。

林道の脇には



数日前に降った雪が所々残っている。暫く高度を稼いで行くと小仏峠だ、此处で大休止とした。八王子の市街を見渡し、其

の向こうに新宿副都心、池袋サンシャイン等都内が一望出来た。小仏峠から多少の急登を40分も行くと景信山だ、尾根筋に出ると結構雪が残っており、アイスパーンの所もある。やはり山頂はラッシュであった、すでに餅つきを終えて舌鼓のグループもいる。

景信小屋の親父さんによれば、今日は5組約100の方が餅つきに参加しているそうだ。こぶし会も早速餅つきの準備にかかる、餡、黄な粉、納豆、ゴマ、大根おろし、ねぎの微塵切と、さすがにこぶし会主婦連の手際の良さには感心した。

餅米が蒸しあがり、いよいよこぶし会男性陣の出番だ、



一番若いSさんに最初に杵を持ってもらい、つき始めると小屋の親父さんが「ダメダメそんなに

力任せじゃ、餅つきは力でなく、杵の重さでつくんだ、こうやるんだ」と見本を見せてくれた、「なーるほど」と一同納得！つき手の男性とかえし手の女性のタイミングが合ってきた頃、いよいよ餅がつきあがる、女性陣の手で餅が餡に黄な粉におろしにと入れられていくと、傍から男性陣が胃袋へ！！アツという間に2升を平らげ、次の2升をつき始める。しかし何とつきたての餅の美味しいこと、何もつけなくてもとても甘い。晴天の下、和気あいあいの中で、餅をつき、食べ、そして話しに花を咲かせた楽しい1日でした。

参加された皆さんお腹一杯になりましたか？ではまた来年のお楽しみ



(記・馬場清士)  
(写真提供・涌井良明)